



防災まちづくり談義の会

豪雨による災害に向けた行政サイドの対策

～ピンポイント気象の活用事例～

昨今、甚大な被害をもたらすゲリラ豪雨や台風の自然災害の脅威により、市町村等自治体は住民の安全確保の観点でより高いレベルで情報把握と判断が求められています。

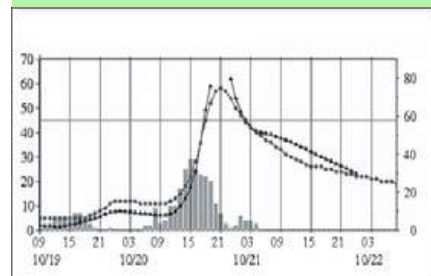
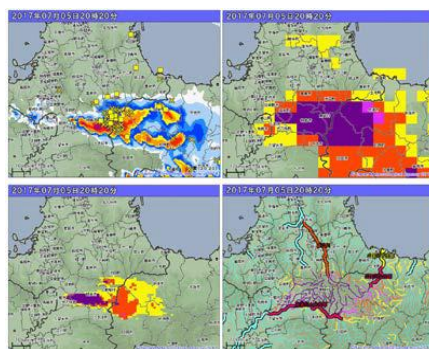
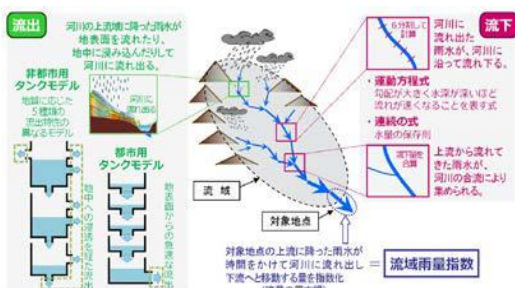
弊社が扱うピンポイント気象データ等をご紹介します、2018年7月の豪雨の事例で気象情報がどのように活用されたのかについて、皆様とともに確認して参ります。



講師：藤岡 浩之氏

1991年NTTデータ通信入社
(現NTTデータ)

医療情報システム、法人顧客向
パッケージビジネス等を経験
2017年ハレックス常務取締役
2018年同社代表取締役社長



※ 図は気象情報の例です

◆日時：2019年2月22日(金)
18時～19時30分

◆会場：神奈川大学 24号館 310号室

◆参加費：無料(資料代100円)

◆申し込み不要(直接会場にお越しください)

主催「防災塾・だるま」

<http://darumajin.sakura.ne.jp>



神奈川大学：正門でご確認ください

次のご案内 開催日時：3月22日(金) 15時～16時30分

場所：横浜市青少年育成センター(関内ホール内) 地下2階第1研修室

テーマ：「検討中」 講師：神奈川県暮らし安全局災害対策課(人選中)